

9月21日は「世界アルツハイマーデー」

～認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで作っていきましょう～



世界アルツハイマー月間 特別企画！

— 第3回 郡山城天守台のオレンジライトアップ —

オレンジ色は認知症の人を支援するための象徴の色です。第3回目となる今年度も大和郡山市のシンボルである天守台を、オレンジ色にライトアップします。

日時＝9月18日(土) 19時～20時30分 場所＝郡山城天守台周辺

問合せ＝地域包括支援センター(内線583)

●認知症になっても自分らしく輝き続けられるまち 大和郡山市

認知症高齢者をみんなで見守る

見守り金魚バッジ



NEW!
色違いの
金魚バッジ
できました

🗨️ 見守り金魚バッジってなんですか？

見守り金魚バッジは市ボランティア連絡協議会で作成されています。行方不明になる心配のある認知症高齢者が身につけるバッジです。裏面に連絡先等が記入できるようになっています。



市ボランティア連絡協議会
会長の堀内さん

見守り金魚バッジは地域包括支援センターと社会福祉協議会で配布しています。

デジタル化のこの時代に、この金魚バッジは逆行しているかもしれません。しかし真心を込めた手作りの金魚バッジだからこそその『良さ』があり、これからもみなさんのお役に立てればと考えています。

●認知症になっても住み慣れたまちで暮らすために

認知症カフェに行ってみましょう



オレンジカフェ『おさんぽ』の様子

🗨️ 認知症カフェってどんなところ？

認知症の人やその家族、地域住民、専門職など誰もが気軽に参加できる『つどいの場』です。認知症の人やその家族の気持ちをサポートします。お茶を飲みながら日頃の介護について語り合ったり、脳トレや体操を行ったりとカフェごとに色々な特色があります。

みんなと一緒に『楽しい話、これからの夢、失敗した話、悩んでいる事、何でもない話』などなどを話せるホッとできる居場所です。一枚の折り紙から子どもの頃の思い出話に花咲くことも。あなたもご一緒しませんか？

認知症カフェに興味のある人は最寄りの地域包括支援センターにお問い合わせください。

認知症の相談は地域包括支援センターへ

認知症は早期発見 早期対応が大切です

名 称	地域包括支援センター	第二地域包括支援センター	第三地域包括支援センター	第四地域包括支援センター
活動地区	郡山北 郡山西 矢田	片桐 西田中 新町	昭和 治道 筒井	平和 郡山南
住 所	北郡山町248-4 (市役所 113番窓口)	小泉町105-1 (片桐地区公民館内)	宮堂町160-7 (あすなら苑内)	若槻町4-4 (平和地区公民館内)
電 話	55-7733	55-7011	57-2233	51-0700
F A X	55-6831	55-7012	57-1153	51-0710
相談時間	月～金 8:30～17:15	月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:00	月～日 9:00～18:00	月～土 9:00～17:00

◆もの忘れ 認知症が心配になったら地域包括支援センターにご相談ください。(地域包括支援センター)